

津久井やまゆり園事件から１０年

令和８年（２０２６年）７月２６日に、津久井やまゆり園事件から１０年が経ちました。

あらためて、亡くなった１９名の皆さまへ、心から哀悼の意を表します。また、体や心に傷を負わされた方々には、心からお見舞いを申し上げます。そして、いつもどおりの暮らしを取り戻していることを祈っております。

私たち全国手をつなぐ育成会連合会では、事件が起きたすぐ後に、２つの声明文を出しました。１つは育成会の考えを発表した声明文、もう１つは知的障害や発達障害のある人に向けたメッセージでした。

事件から１０年が過ぎましたが、今でも私たちの気持ちは変わりません。

事件の犯人は、うまく会話ができないような重度の障害者はいなくなればいいと話していました。

しかし、障害のある人は、一人ひとりが懸命に生きています。そして、私たち家族は、障害のある人を本当に大切な存在だと思っています。

津久井やまゆり園事件は、障害のある人にとって、とてもショックだったと思います。今でも、施設の職員は本当に障害者を守ってくれるのだろうか、不安になってしまう人がいるかもしれません。

もし不安な気持ちになったら、皆さんの家族や友だち、仕事の仲間や施設の職員へ話してみてください。きっと、話を聞いてくれるはずです。

そして、私たち家族は、いつでも、障害のある皆さんの味方です。もし、誰かに「障害者なんていなくなればいい」と言われたら、必ず全力で守ります。

ですから、障害のある人も私たち家族も、いつだって堂々と生きていきましょう。

令和８年（２０２６年）７月２６日

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会
会 長 佐 々 木 桃 子